

歳から82歳まで、そして、中野区の
方だけではなく杉並区、練馬区、文
京区、世田谷区、品川区、三鷹市、
武蔵野市、武蔵村山市、小金井市、
日野市、さらに神奈川県、埼玉県、
石川県など他県区市からの応募が増
えてきました。そして、ものしり博
士は9人誕生しました。

ものしり博士認定授与式は令和6
年1月12日（金）午後4時より中野
区役所にて行います。

第10回中野区検定の「問題」と「解
答」の抜粋については中野区教育振
興会ホームページ
<https://nakanoku-eps.or.jp/>で見
ることができます。

ことができません。

高校卒業を迎える奨学生から

感謝の言葉

維持会員及び東京中野ライオンズ
クラブの皆様へ

「高校生活の思い出」

土屋 結菜

高校三年間を振り返ると、とても
楽しく充実してあってという間に
感じます。特に高校三年間での一番

の思い出は、日々の学校生活です。
授業で友達と意見交換をしたり、休
み時間では、たわいもない話で盛り
上がったたり、くだらないことで笑っ
たり。こうしたかけがえのない日常
が、大切なんだということに改めて
気づかされた三年間でした。

本当にいろいろなことがありまし
たが、学校行事も良き先生や友達に
出会えたこともすべてが良い思い出
です。この思い出をもとに、卒業後
も頑張っていきたいと思います。
本当にありがとうございます。

「特別な三年間」

清水 美沙

高校三年間を振り返ると本当にあ
つという間だったと感じています。

新型コロナウイルスが蔓延してい
る中での入学でマスク生活だったの
で友達の顔が分らなかつた期間も多
くありました。イベントも制限があ
り、当たり前前に出来ていたことが出
来ずにモチベーションが上がらず
只々難しい授業が進んでいく毎日
でした。ですがコロナ禍だったからこ
そ、いつもとは違う向き合い方で人
と接し、心で繋がる事が出来まし

た。この経験はコロナ禍で青春を過
ごした学生達だけの思い出です。
三年間、学校生活を支援していた
だきありがとうございます。

「夢に向かって」

鈴木 梨華

入学式がつい先日のことと思える
ほどあつという間で、とても充実し
た高校生活を送ることが出来ました。
学力、精神面、その他にも様々な成
長があつた三年間だったと感じてい
ます。

現在は「多くの子供が笑顔で幸せ
に生きられるようにする」という目
標のもと、第一志望の大学に合格す
るために勉強を頑張っています。大
学では教育や児童福祉について学び、
将来の夢と目標に近づきたいと考え
ています。

三年間のご支援、本当にありがと
うございました。

「支えられて」

西山 茉莉奈

大学を受験するにあたり、高校か

ら指定校推薦をもらえたのは、三年
間真面目に頑張ってきた成果に感じ
嬉しかったです

家族や友人、学校の先生と多くの
方々に支えられての結果だと思いま
す。奨学金でのご支援もその一つで
す。どうも有難うございます。

これからも真面目に頑張りたいで
す。

「トレジャーボックス」

宮本 達也

卒業って、いつか来ることだけ
ど鳥肌が立った。得たものはなに？
文化祭で千人の前でソロで歌い勇気
と自信を得たこと。文芸部で仲間と
芸術を磨いたこと。ただ、授業を受
けたこと。体育で活躍したこと。い
っぱいある。卒業したらなくなるも
のは沢山ある。宝箱はこれ以上広が
らない。卒業したら行事も活躍の場
も一生涯いかもしれない、でも後悔
はない、無いはずだ。思い出は玉手
箱に入れている。僕は最後という言葉
を噛み締めて卒業する。でも欲を
言えば、まだ未知のトレジャーボッ
クスを見つきたい。次は高校ではで
きないことを探そうと思う。